

横浜ブルーカーボン

YOKOHAMA BLUE CARBON

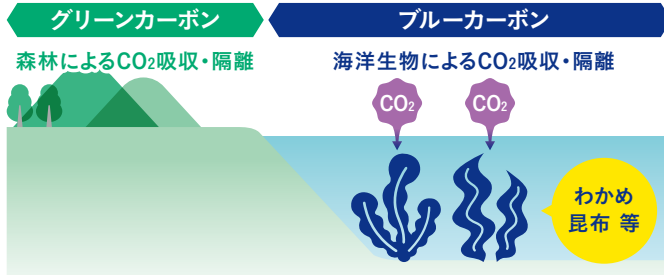


ブルーカーボンとは？

海洋に生息する海藻などの生き物によって吸収・隔離されるCO₂などの炭素のことです。2009年、国連環境計画(UNEP)報告書にて命名されました。ブルーカーボンによって、現在の世界の年間排出量の約0.5%の炭素を吸収・隔離できると期待されています。

森林など、陸の植物が光合成によりCO₂を吸収するグリーンカーボンのように、海の生き物もCO₂を吸収し、地球温暖化の緩和に貢献しているのです。

出典：海の森ブルーカーボン CO₂の新たな吸収源(2021年3月国土交通省港湾局)



横浜ブルーカーボンの取組

横浜市では、ブルーカーボンの役割を啓発するため、市民や事業者向けのイベントを実施しています。

横浜・八景島シーパラダイスとの連携

8月 グリーンキッズ 東京湾の生きもの観察ツアー

東京湾内に生息する生きものを観察するイベントです。スタッフが実際に生きものを採取して、触れ合いながらレクチャーします。



12月 わかめ植付けイベント

水族館「うみファーム」にて、子どもたちがわかめを植付けます。ブルーカーボンの重要性について学んだ後、10cm程度のわかめの種苗をロープに括りつけます。わかめは海の中で収穫まで成長していきます。



わかめの種苗

3月 わかめ収穫イベント

わかめ植付けイベントで植付けたわかめを収穫します。子どもたちは、ブルーカーボンの重要性について学んだ後、海から引き揚げたロープでわかめの収穫を行います。植付けたわかめは、3か月で1m程度に成長しています。



各種イベントへの出展

5月 Yokohama Triathlon Festival (ハマトラFES)

ワールドトライアスロン・パラトライアスロンシリーズ横浜大会の実施に合わせて開催されるイベントです。令和4年度は、海藻をモチーフにしたぬいぐるみコーナーを実施し、来場者へブルーカーボンの役割を伝えました。



8月 海洋都市横浜うみ博

“海”を楽しく学べるイベントです。令和4年度は、子どもたちを対象に、「海藻おしば教室」を実施しました。ブルーカーボンの役割を学んだ後、カラフルな海藻を用いて、思い思いの作品を作りました。



10月 東京湾大感謝祭

海を起点にライフスタイルの転換を考え、行動するきっかけづくりとして開催されるイベントです。令和4年度は、横浜市漁業協同組合・横浜市立大学料理部と連携して、横浜産わかめ試食会を実施しました。



わかめともやしのナムル

消しゴムはんこアニメーション 「ブルーカーボン」 ってなあに？

「ブルーカーボン」ってなあに？



消しゴムはんこをコマ撮りにした動画で、ブルーカーボンについてお子様にもわかりやすく紹介しています。ぜひご覧ください！

動画はこちら

